

4 特定課題

県の長期計画の進捗度

問33 状況が良くなった施策

愛媛県では、長期計画で、各分野に目標を掲げて施策を推進していますが、この3年間で特に状況が良くなったと思う施策を、次の中から**五つまで選んで**番号を○で囲んでください。

(複数回答) (%)

《産業分野》

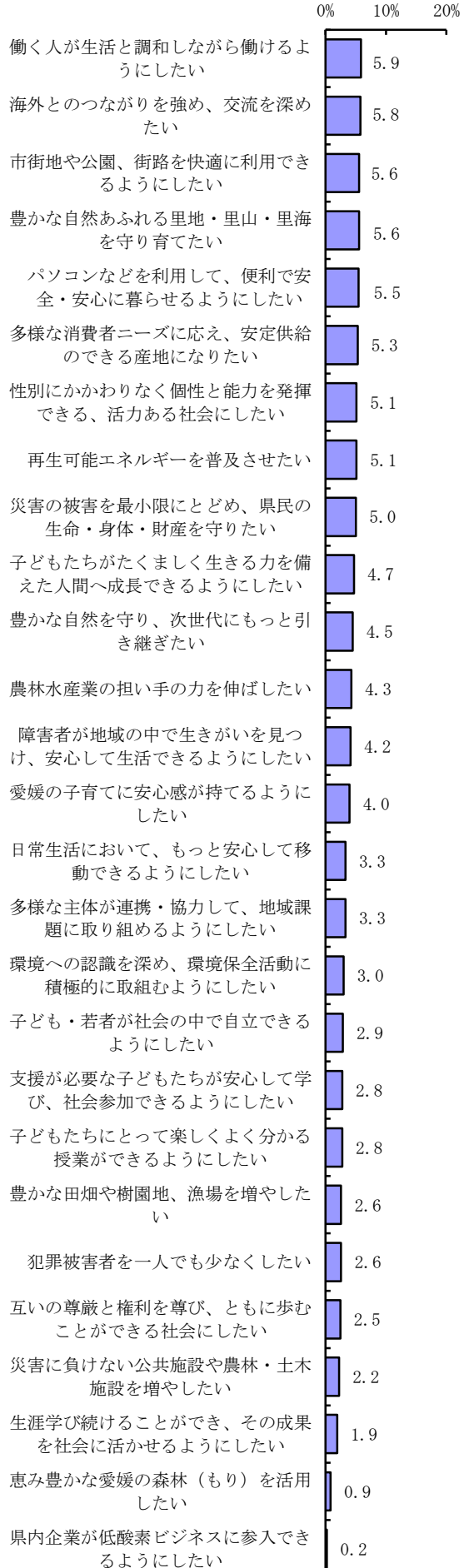
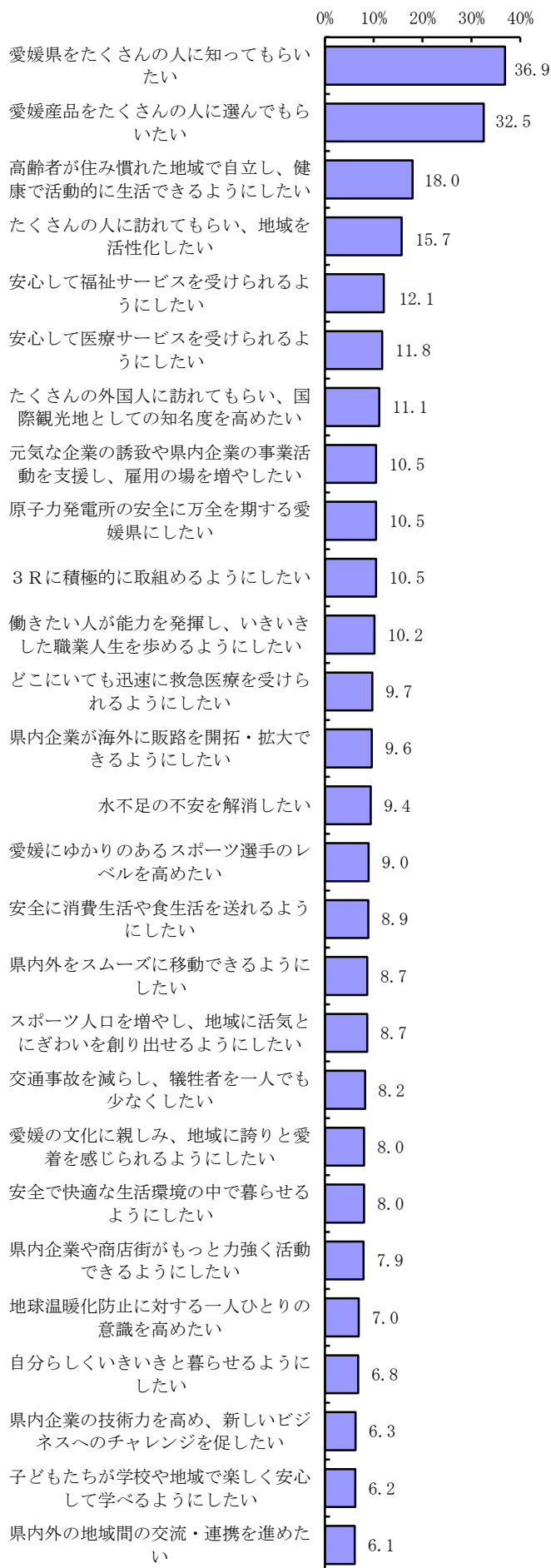
- | | | |
|----|-----------------------------------|------|
| 1 | 県内企業や商店街がもっと力強く活動できるようにしたい | 7.9 |
| 2 | 元気な企業の誘致や県内企業の事業活動を支援し、雇用の場を増やしたい | 10.5 |
| 3 | 県内企業が海外に販路を開拓・拡大できるようにしたい | 9.6 |
| 4 | 県内企業の技術力を高め、新しいビジネスへのチャレンジを促したい | 6.3 |
| 5 | 働きたい人が能力を発揮し、いきいきした職業人生を歩めるようにしたい | 10.2 |
| 6 | 働く人が生活と調和しながら働けるようにしたい | 5.9 |
| 7 | 農林水産業の担い手の力を伸ばしたい | 4.3 |
| 8 | 豊かな田畑や樹園地、漁場を増やしたい | 2.6 |
| 9 | 多様な消費者ニーズに応え、安定供給のできる産地になりたい | 5.3 |
| 10 | 愛媛産品をたくさんの人に選んでもらいたい | 32.5 |
| 11 | 愛媛県をたくさんの人に知ってもらいたい | 36.9 |
| 12 | たくさんの人に訪れてもらい、地域を活性化したい | 15.7 |
| 13 | たくさん外国人に訪れてもらい、国際観光地としての知名度を高めたい | 11.1 |
| 14 | 県内外の地域間の交流・連携を進めたい | 6.1 |
| 15 | 海外とのつながりを強め、交流を深めたい | 5.8 |
| 16 | 県内外をスムーズに移動できるようにしたい | 8.7 |
| 17 | 日常生活において、もっと安心して移動できるようにしたい | 3.3 |

《暮らし分野》

- | | | |
|----|------------------------------------|------|
| 18 | 多様な主体が連携・協力して、地域課題に取り組めるようにしたい | 3.3 |
| 19 | 性別にかかわらず個性と能力を発揮できる、活力ある社会にしたい | 5.1 |
| 20 | 互いの尊厳と権利を尊び、ともに歩むことができる社会にしたい | 2.5 |
| 21 | 高齢者が住み慣れた地域で自立し、健康で活動的に生活できるようにしたい | 18.0 |
| 22 | 障害者が地域の中で生きがいを見つけ、安心して生活できるようにしたい | 4.2 |
| 23 | 安心して福祉サービスを受けられるようにしたい | 12.1 |
| 24 | 自分らしくいきいきと暮らせるようにしたい | 6.8 |
| 25 | 安心して医療サービスを受けられるようにしたい | 11.8 |
| 26 | どこにいても迅速に救急医療を受けられるようにしたい | 9.7 |
| 27 | 市街地や公園、街路を快適に利用できるようにしたい | 5.6 |
| 28 | パソコンなどを利用して、便利で安全・安心に暮らせるようにしたい | 5.5 |
| 29 | 安全に消費生活や食生活を送れるようにしたい | 8.9 |
| 30 | 水不足の不安を解消したい | 9.4 |
| 31 | 交通事故を減らし、犠牲者を一人でも少なくしたい | 8.2 |
| 32 | 犯罪被害者を一人でも少なくしたい | 2.6 |
| 33 | 原子力発電所の安全に万全を期する愛媛県にしたい | 10.5 |
| 34 | 災害の被害を最小限にとどめ、県民の生命・身体・財産を守りたい | 5.0 |
| 35 | 災害に負けない公共施設や農林・土木施設を増やしたい | 2.2 |

《人づくり分野》	
36 愛媛の子育てに安心感が持てるようにしたい	4.0
37 子ども・若者が社会の中で自立できるようにしたい	2.9
38 子どもたちが学校や地域で楽しく安心して学べるようにしたい	6.2
39 子どもたちがたくましく生きる力を備えた人間へ成長できるようにしたい	4.7
40 支援が必要な子どもたちが安心して学び、社会参加できるようにしたい	2.8
41 子どもたちにとって楽しくよく分かる授業ができるようにしたい	2.8
42 生涯学び続けることができ、その成果を社会に活かせるようにしたい	1.9
43 愛媛の文化に親しみ、地域に誇りと愛着を感じられるようにしたい	8.0
44 スポーツ人口を増やし、地域に活気とにぎわいを創り出せるようにしたい	8.7
45 愛媛にゆかりのあるスポーツ選手のレベルを高めたい	9.0
《環境分野》	
46 環境への認識を深め、環境保全活動に積極的に取り組むようにしたい	3.0
47 地球温暖化防止に対する一人ひとりの意識を高めたい	7.0
48 3Rに積極的に取り組めるようにしたい	10.5
※3Rとは、Reduce（廃棄物の発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再生利用）の頭文字	
49 安全で快適な生活環境の中で暮らせるようにしたい	8.0
50 豊かな自然を守り、次世代にもっと引き継ぎたい	4.5
51 豊かな自然あふれる里地・里山・里海を守り育てたい	5.6
52 再生可能エネルギーを普及させたい	5.1
53 県内企業が低酸素ビジネスに参入できるようにしたい	0.2
54 恵み豊かな愛媛の森林（もり）を活用したい	0.9

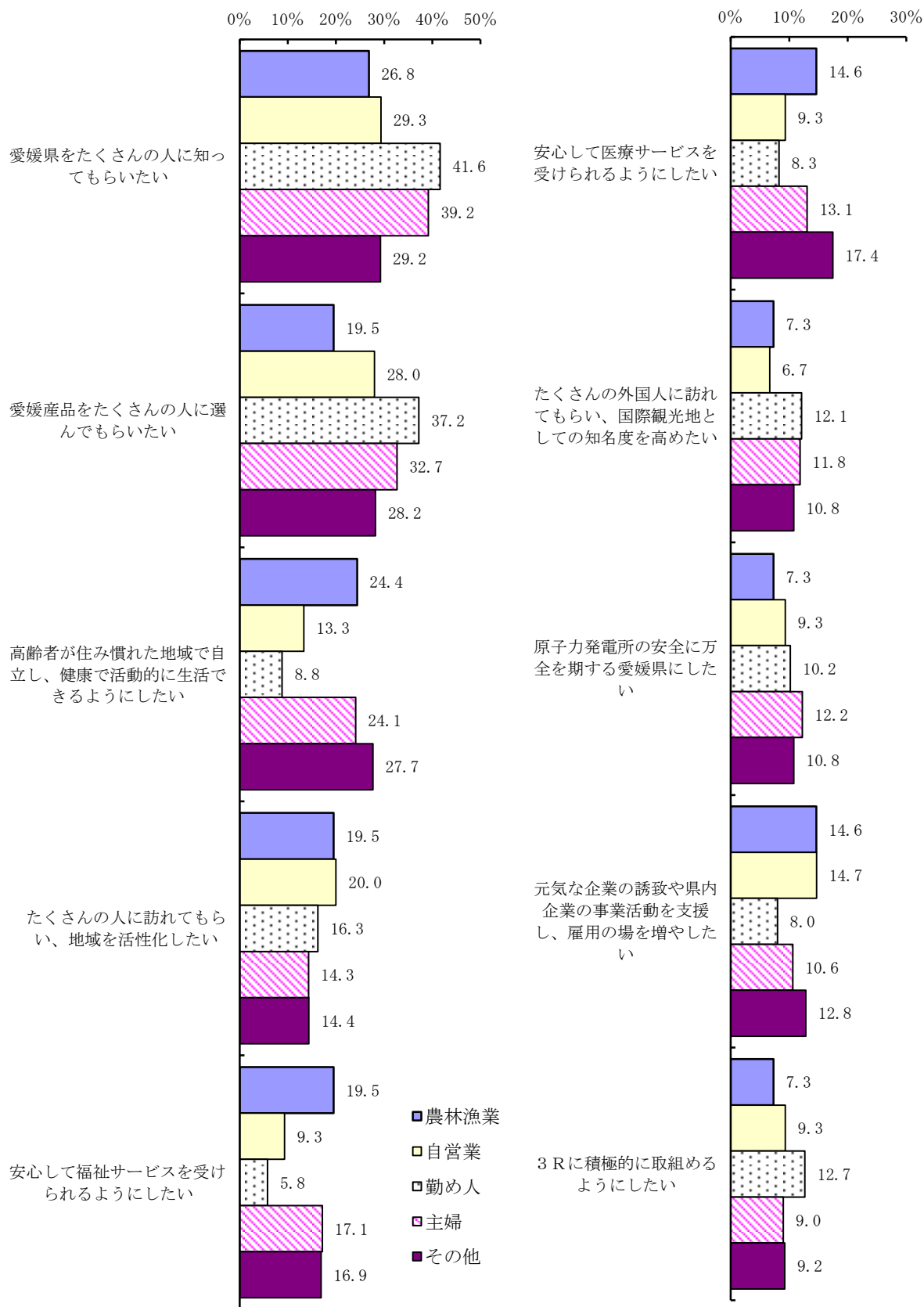
愛媛県が各分野に目標を掲げて施策を推進している長期計画について、この3年間で特に状況が良くなったと思う施策を聞いたところ、「愛媛県をたくさんの人に知ってもらいたい」と答えた人の割合が36.9%で最も多く、以下「愛媛産品をたくさんの人に選んでもらいたい」（32.5%）、「高齢者が住み慣れた地域で自立し、健康で活動的に生活できるようにしたい」（18.0%）、「たくさんの人に訪れてもらい、地域を活性化したい」（15.7%）などの順となっている。



【職業別】

上位10項目を職業別にみると、全ての職業で「愛媛県をたくさんの人に知ってもらいたい」と答えた人の割合が最も多く、勤め人（41.6%）及び主婦（39.2%）が他の職業と比較して多くなっている。

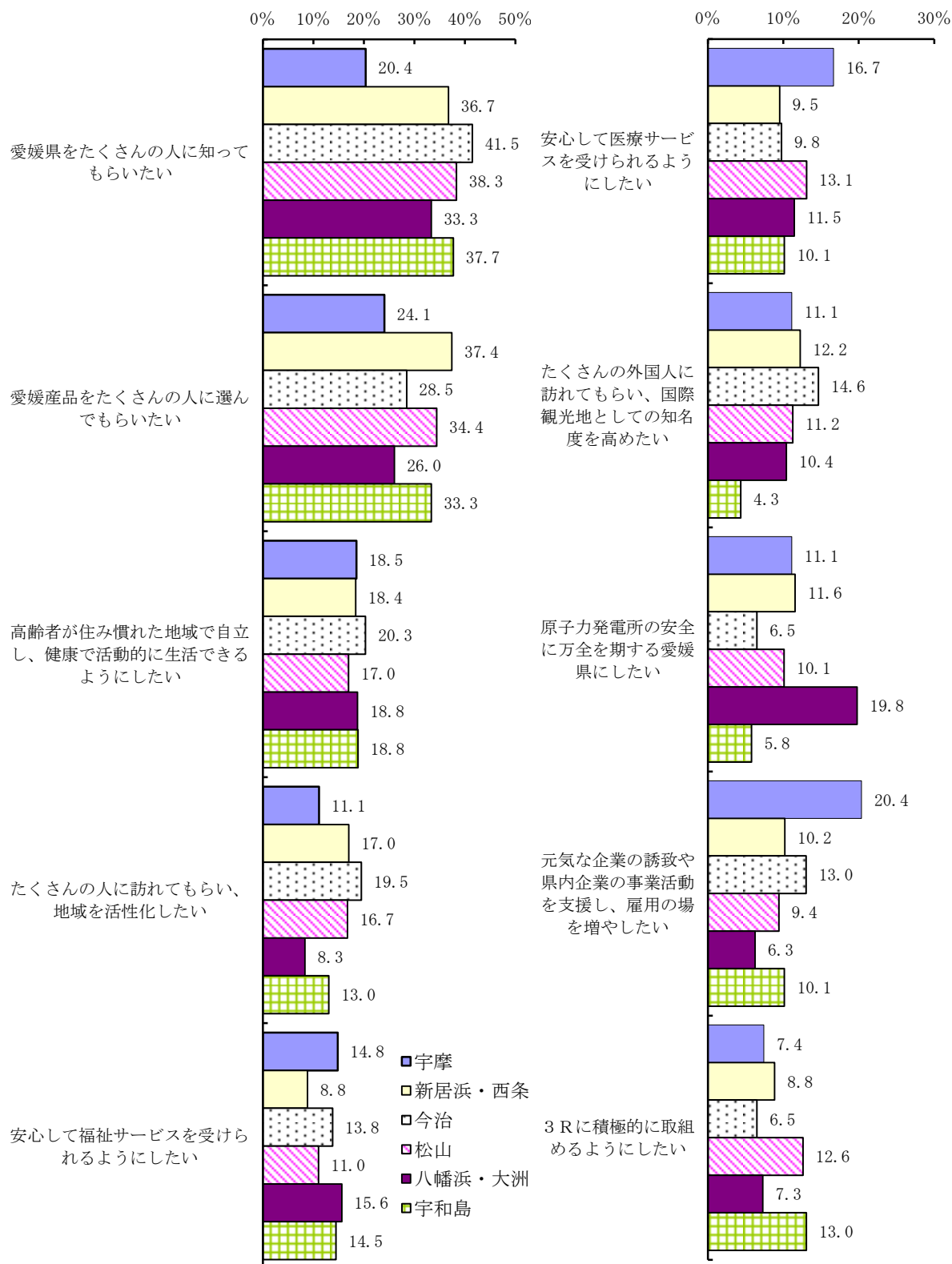
また、「愛媛産品をたくさんの人に選んでもらいたい」は、勤め人及び主婦で他の職業と比較して比較的多い。



【生活圏域別】

上位10項目を生活圏域別にみると、宇摩圏域及び新居浜・西条圏域を除く全ての圏域で「愛媛県をたくさんの人に知ってもらいたい」と答えた人の割合が最も多く、宇摩圏域及び新居浜・西条圏域では「愛媛産品をたくさんの人に選んでもらいたい」が最も多い。

また、「原子力発電所の安全に万全を期する愛媛県にしたい」と答えた人の割合は、八幡浜・大洲圏域（19.8%）で他の圏域と比較して特に多く、「元気な企業の誘致や県内企業の事業活動を支援し、雇用の場を増やしたい」は、宇摩圏域（20.4%）で特に多くなっている。



問33-1 状況が悪くなった施策

愛媛県では、長期計画で、各分野に目標を掲げて施策を推進していますが、この3年間で特に状況が悪くなったと思う施策を、次の中から**五つまで選んで**番号を○で囲んでください。

(複数回答) (%)

《産業分野》

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1 県内企業や商店街がもっと力強く活動できるようにしたい | 30.5 |
| 2 元気な企業の誘致や県内企業の事業活動を支援し、雇用の場を増やしたい | 16.4 |
| 3 県内企業が海外に販路を開拓・拡大できるようにしたい | 2.0 |
| 4 県内企業の技術力を高め、新しいビジネスへのチャレンジを促したい | 3.7 |
| 5 働きたい人が能力を発揮し、いきいきした職業人生を歩めるようにしたい | 15.1 |
| 6 働く人が生活と調和しながら働けるようにしたい | 8.8 |
| 7 農林水産業の担い手の力を伸ばしたい | 13.9 |
| 8 豊かな田畑や樹園地、漁場を増やしたい | 10.8 |
| 9 多様な消費者ニーズに応え、安定供給のできる産地になりたい | 3.8 |
| 10 愛媛産品をたくさんの人に選んでもらいたい | 2.9 |
| 11 愛媛県をたくさんの人に知ってもらいたい | 4.9 |
| 12 たくさんの人に訪れてもらい、地域を活性化したい | 3.1 |
| 13 たくさん外国人に訪れてもらい、国際観光地としての知名度を高めたい | 3.9 |
| 14 県内外の地域間の交流・連携を進めたい | 1.2 |
| 15 海外とのつながりを強め、交流を深めたい | 2.0 |
| 16 県内外をスムーズに移動できるようにしたい | 6.6 |
| 17 日常生活において、もっと安心して移動できるようにしたい | 4.6 |

《暮らし分野》

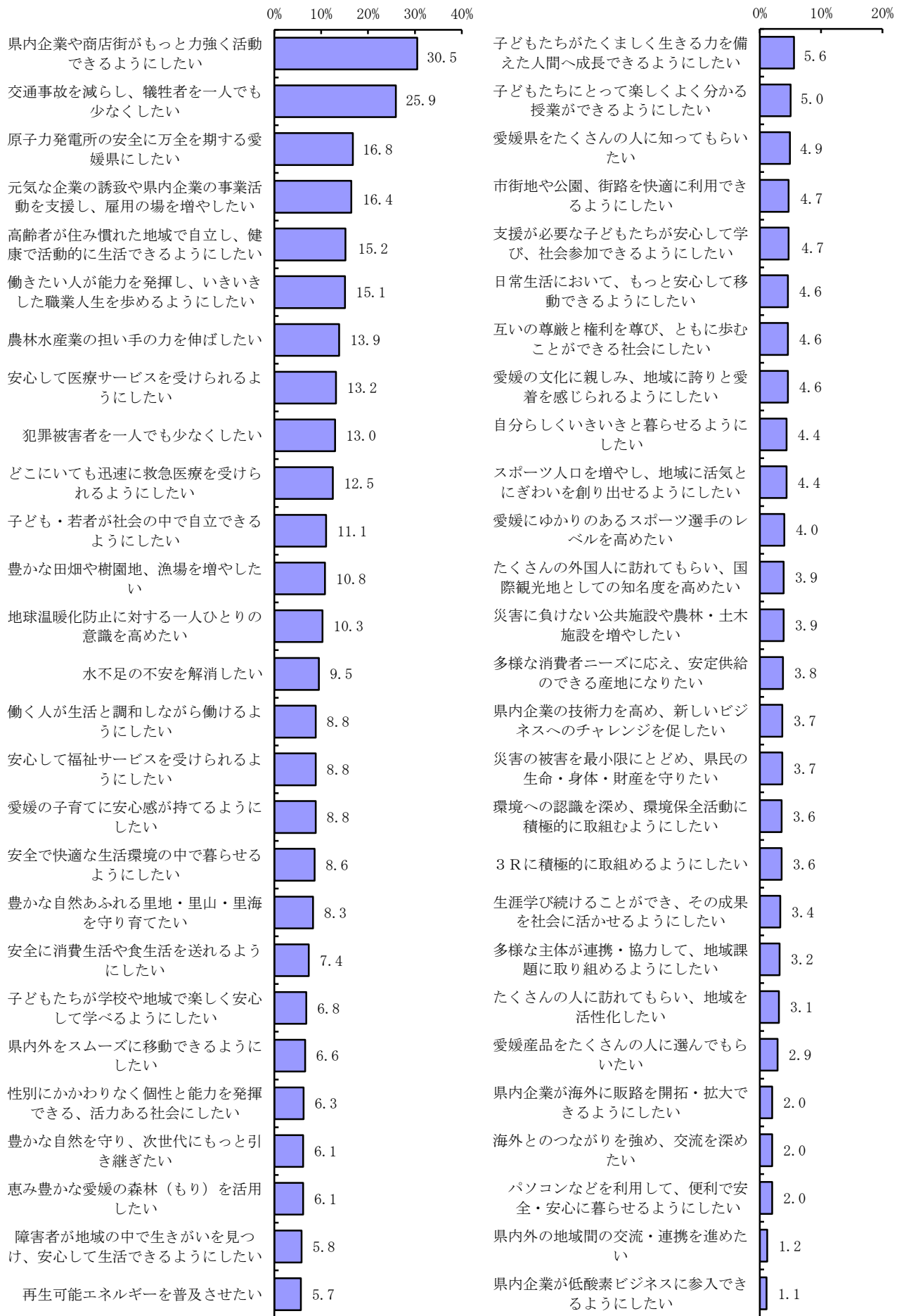
- | | |
|---------------------------------------|------|
| 18 多様な主体が連携・協力して、地域課題に取り組めるようにしたい | 3.2 |
| 19 性別にかかわらず個性と能力を発揮できる、活力ある社会にしたい | 6.3 |
| 20 互いの尊厳と権利を尊び、ともに歩むことができる社会にしたい | 4.6 |
| 21 高齢者が住み慣れた地域で自立し、健康で活動的に生活できるようにしたい | 15.2 |
| 22 障害者が地域の中で生きがいを見つけ、安心して生活できるようにしたい | 5.8 |
| 23 安心して福祉サービスを受けられるようにしたい | 8.8 |
| 24 自分らしくいきいきと暮らせるようにしたい | 4.4 |
| 25 安心して医療サービスを受けられるようにしたい | 13.2 |
| 26 どこにいても迅速に救急医療を受けられるようにしたい | 12.5 |
| 27 市街地や公園、街路を快適に利用できるようにしたい | 4.7 |
| 28 パソコンなどを利用して、便利で安全・安心に暮らせるようにしたい | 2.0 |
| 29 安全に消費生活や食生活を送れるようにしたい | 7.4 |
| 30 水不足の不安を解消したい | 9.5 |
| 31 交通事故を減らし、犠牲者を一人でも少なくしたい | 25.9 |
| 32 犯罪被害者を一人でも少なくしたい | 13.0 |
| 33 原子力発電所の安全に万全を期する愛媛県にしたい | 16.8 |
| 34 災害の被害を最小限にとどめ、県民の生命・身体・財産を守りたい | 3.7 |
| 35 災害に負けない公共施設や農林・土木施設を増やしたい | 3.9 |

《人づくり分野》

- | | |
|----------------------------|------|
| 36 愛媛の子育てに安心感が持てるようにしたい | 8.8 |
| 37 子ども・若者が社会の中で自立できるようにしたい | 11.1 |

38	子どもたちが学校や地域で楽しく安心して学べるようにしたい	6.8
39	子どもたちがたくましく生きる力を備えた人間へ成長できるようにしたい	5.6
40	支援が必要な子どもたちが安心して学び、社会参加できるようにしたい	4.7
41	子どもたちにとって楽しくよく分かる授業ができるようにしたい	5.0
42	生涯学び続けることができ、その成果を社会に活かせるようにしたい	3.4
43	愛媛の文化に親しみ、地域に誇りと愛着を感じられるようにしたい	4.6
44	スポーツ人口を増やし、地域に活気とにぎわいを創り出せるようにしたい	4.4
45	愛媛にゆかりのあるスポーツ選手のレベルを高めたい	4.0
《環境分野》		
46	環境への認識を深め、環境保全活動に積極的に取り組むようにしたい	3.6
47	地球温暖化防止に対する一人ひとりの意識を高めたい	10.3
48	3Rに積極的に取り組めるようにしたい	3.6
	※3Rとは、Reduce（廃棄物の発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再生利用）の頭文字	
49	安全で快適な生活環境の中で暮らせるようにしたい	8.6
50	豊かな自然を守り、次世代にもっと引き継ぎたい	6.1
51	豊かな自然あふれる里地・里山・里海を守り育てたい	8.3
52	再生可能エネルギーを普及させたい	5.7
53	県内企業が低酸素ビジネスに参入できるようにしたい	1.1
54	恵み豊かな愛媛の森林（もり）を活用したい	6.1

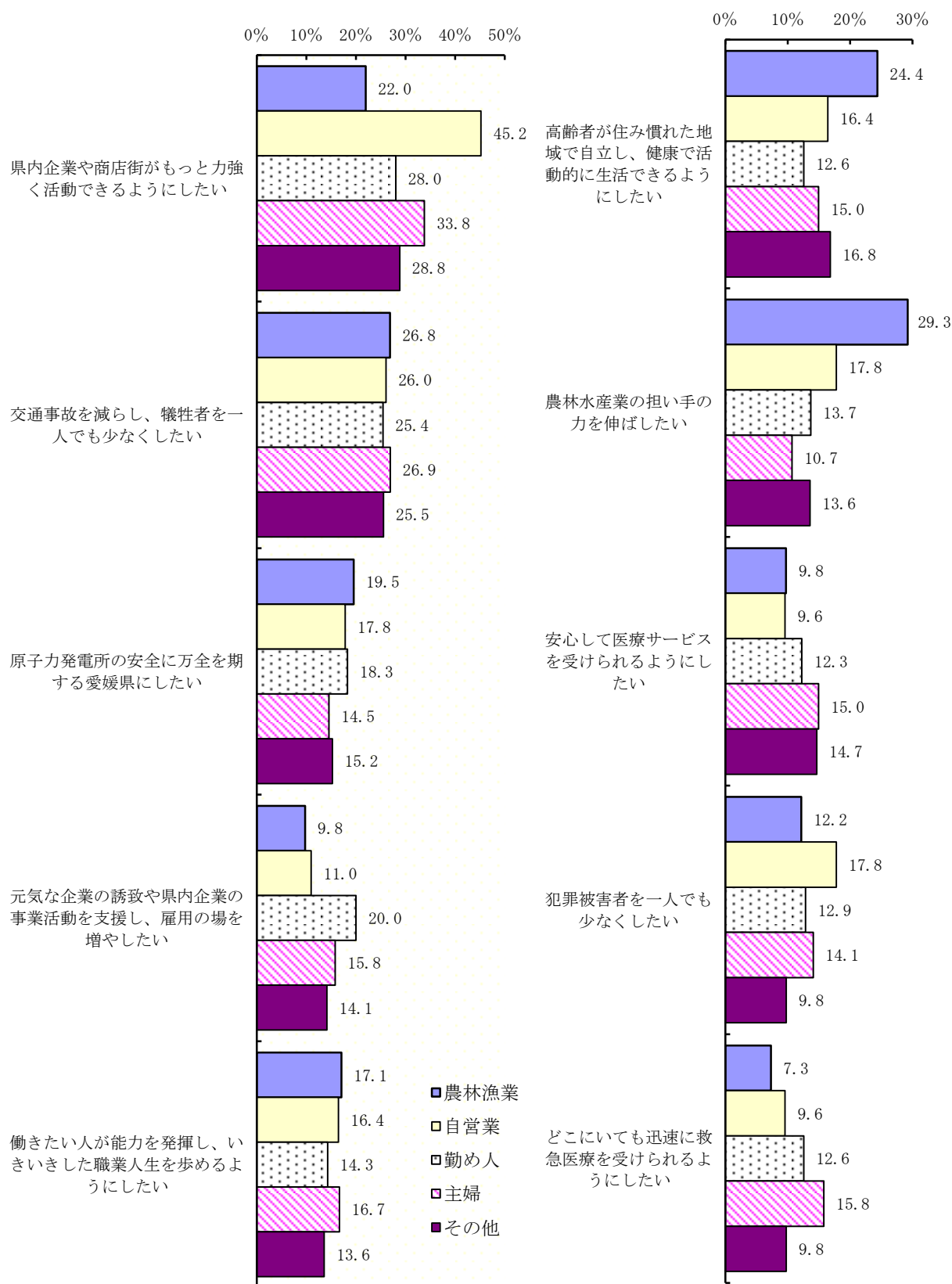
愛媛県が各分野に目標を掲げて施策を推進している長期計画について、この3年間で特に状況が悪くなったと思う施策を聞いたところ、「県内企業や商店街がもっと力強く活動できるようにしたい」と答えた人の割合が30.5%で最も多く、以下「交通事故を減らし、犠牲者を一人でも少なくしたい」（25.9%）、「原子力発電所の安全に万全を期する愛媛県にしたい（16.8%）」、「元気な企業の誘致や県内企業の事業活動を支援し、雇用の場を増やしたい」（16.4%）などの順となっている。



【職業別】

上位10項目を職業別にみると、農林漁業を除く全ての職種で「県内企業や商店街がもっと力強く活動できるようにしたい」と答えた人の割合が最も多く、特に自営業で多くなっている。農林漁業では「農林水産業の担い手の力を伸ばしたい」が最も多く、他の職種と比較しても特に多い。

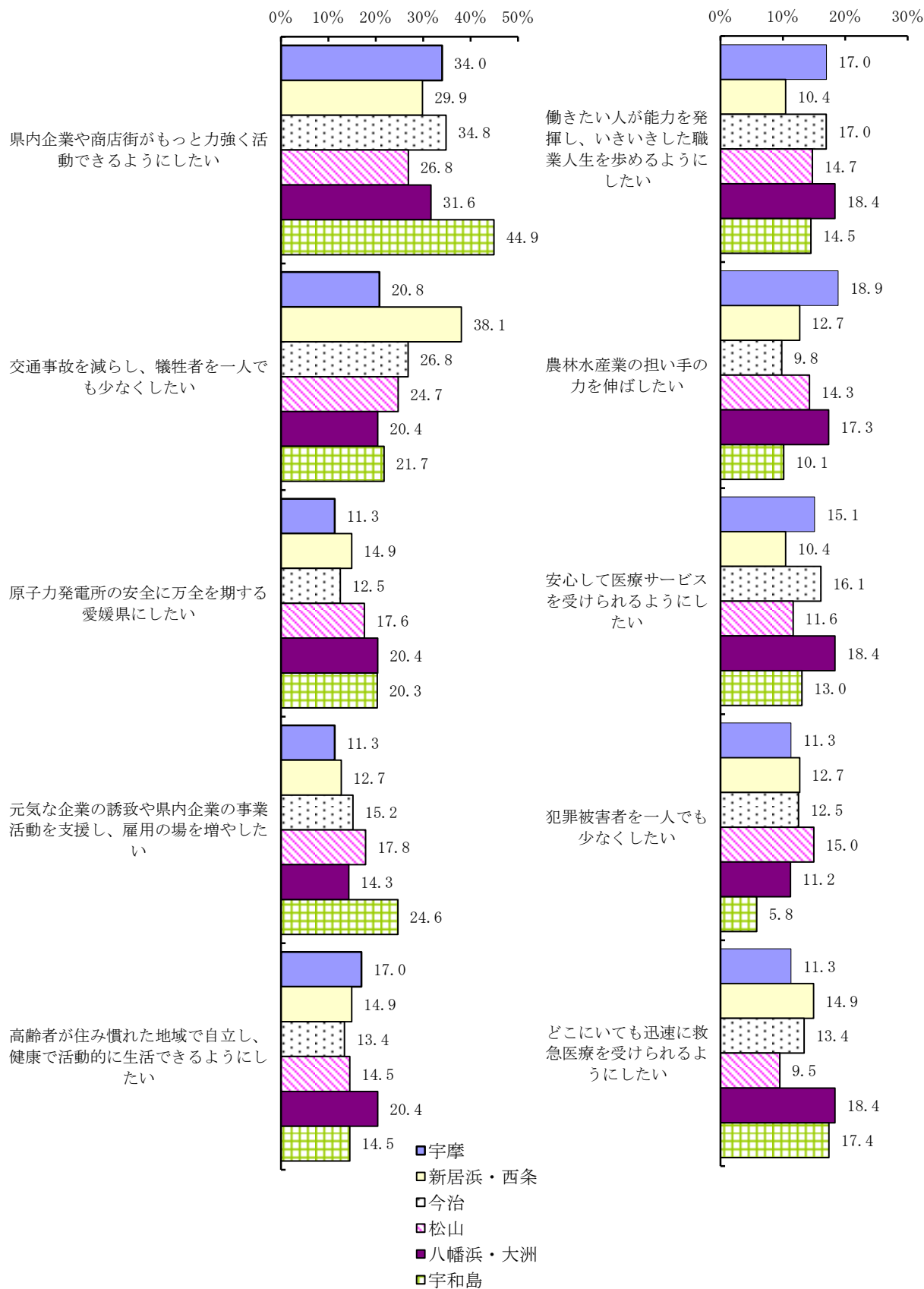
また、「高齢者が住み慣れた地域で自立し、健康で活動的に生活できるようにしたい」は、農林漁業（24.4%）で特に多くなっている。



【生活圏域別】

上位10項目を生活圏域別にみると、新居浜・西条圏域を除く全ての圏域で「県内企業や商店街がもっと力強く活動できるようにしたい」と答えた人の割合が最も多く、特に宇和島圏域で多い。新居浜・西条圏域では「交通事故を減らし、犠牲者を一人でも少なくしたい」が最も多く、他の圏域と比較しても特に多い。

また、「元気な企業の誘致や県内企業の事業活動を支援し、雇用の場を増やしたい」は、宇和島圏域（24.6%）で特に多くなっている。



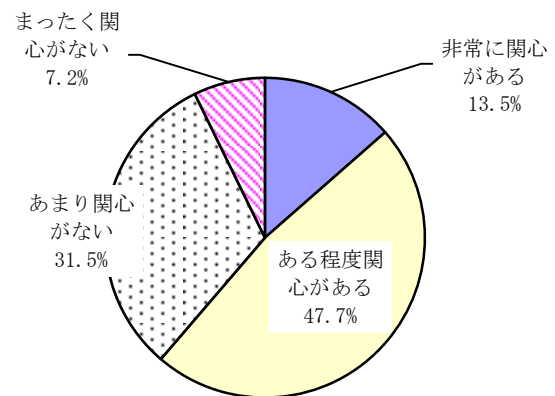
自転車新文化

問34 「自転車新文化」への関心度

愛媛県では、自転車を活用した観光振興・国際交流等によって地域の活性化を図るとともに、自転車の安全利用を促進し、自転車利用の裾野を広げる「自転車新文化」に係る各種施策を推進しています。あなたは「自転車新文化」についてどの程度関心がありますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

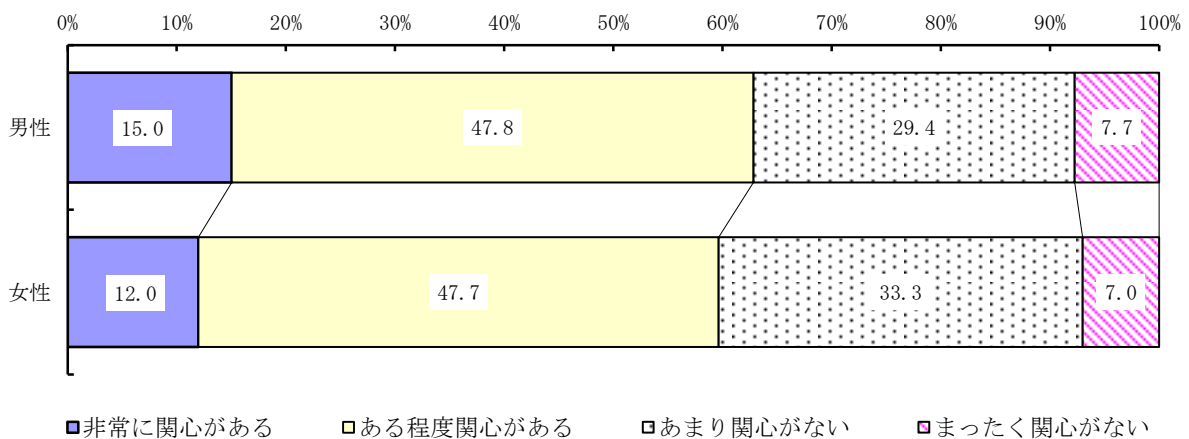
	(%)
1 非常に関心がある	13.5
2 ある程度関心がある	47.7
3 あまり関心がない	31.5
4 まったく関心がない	7.2

「自転車新文化」についてどの程度関心があるかを聞いたところ、「非常に関心がある」と答えた人の割合が13.5%、「ある程度関心がある」が47.7%、「あまり関心がない」が31.5%、「まったく関心がない」が7.2%となっている。



【性別】

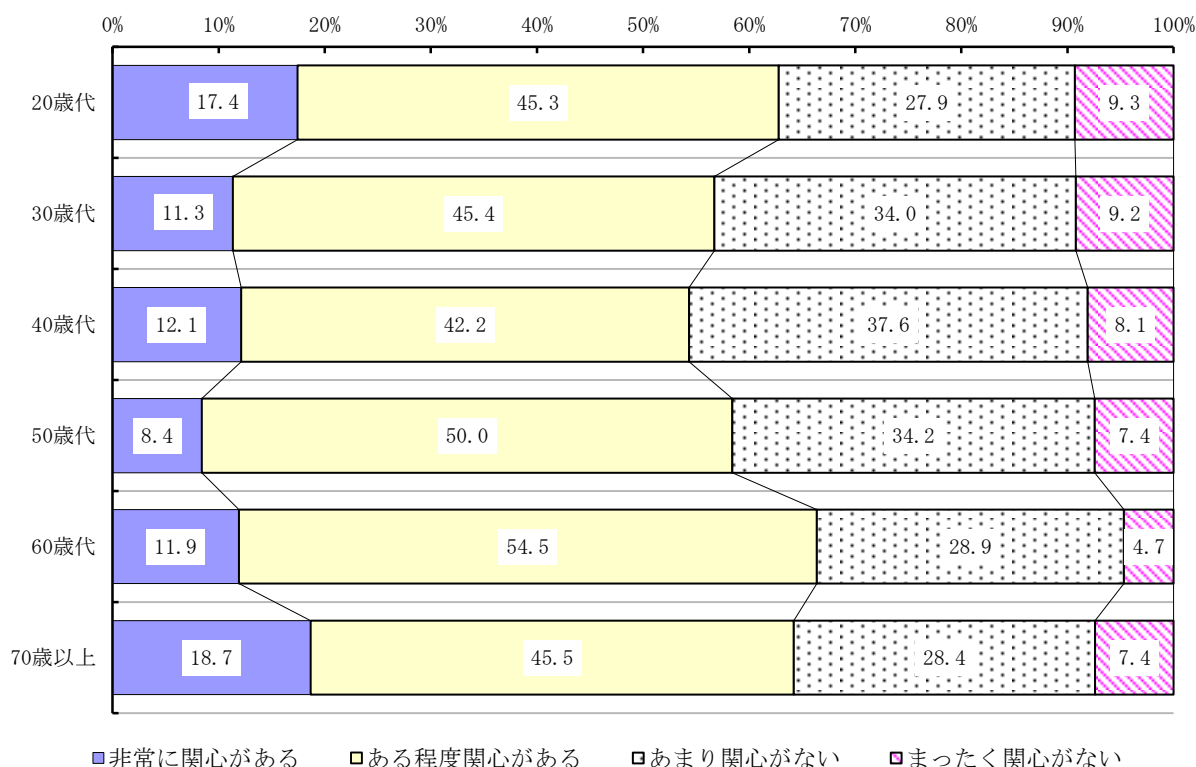
性別にみると、男女共に「ある程度関心がある」と答えた人の割合が最も多く、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」と答えた人の割合の合計は、男性（62.8%）の方が女性（59.7%）より3.1ポイント多くなっている。



【年齢別】

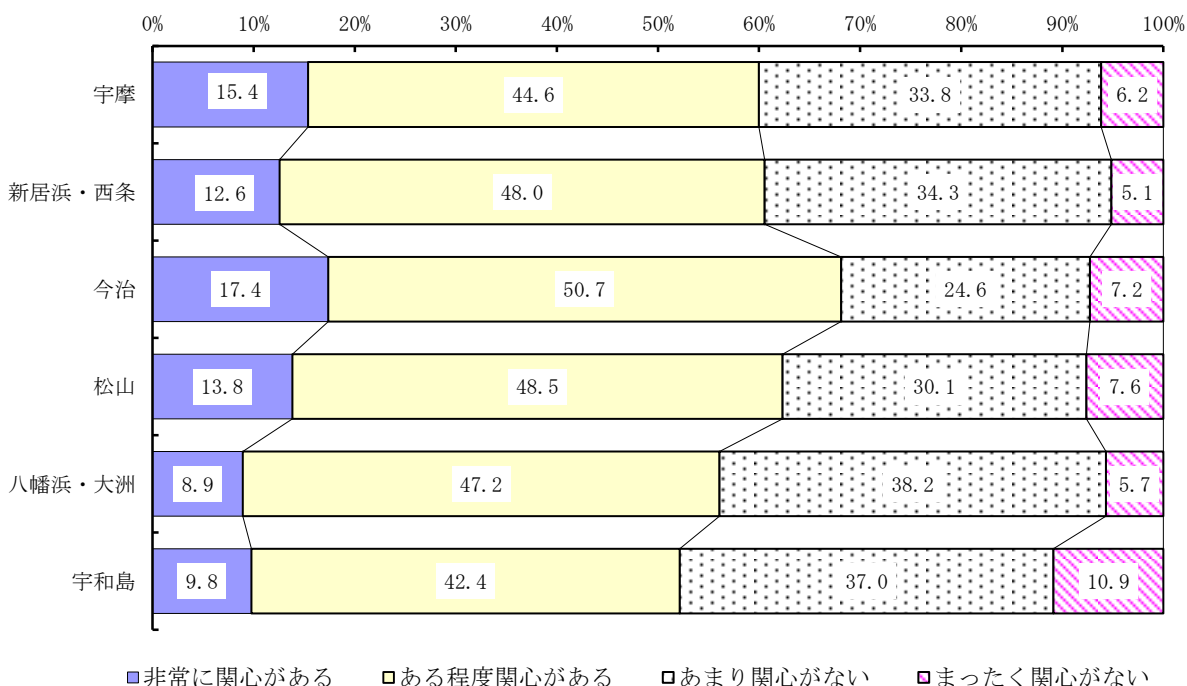
年齢別にみると、「非常に興味がある」と答えた人の割合が、70歳以上（18.7%）で最も多くなっている。

また、「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」と答えた人の割合の合計は、60歳代が66.4%と最も多く、以下70歳以上（64.2%）、20歳代（62.7%）、50歳代（58.4%）、30歳代（56.7%）、40歳代（54.3%）の順となっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」と答えた人の割合の合計は、今治圏域が68.1%と最も多く、以下松山圏域（62.3%）、新居浜・西条圏域（60.6%）、宇摩圏域（60.0%）、八幡浜・大洲圏域（56.1%）、宇和島圏域（52.2%）の順となっている。



エコえひめ農産物

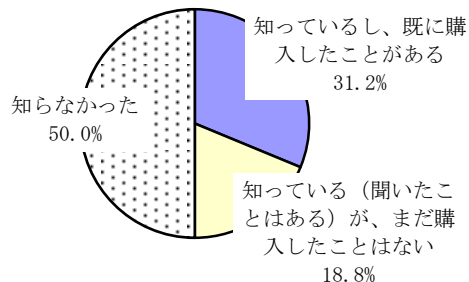
問35 エコえひめ農産物の認知度

「エコえひめ農産物」は、人にも環境にもやさしい農産物として、農薬と化学肥料を栽培基準から5割または3割以上削減して生産したものを、平成15年から県の制度に基づき認証したもので、次のマークを付けて販売しています。あなたは、この「エコえひめ農産物」をご存知ですか。また、購入したことがありますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。



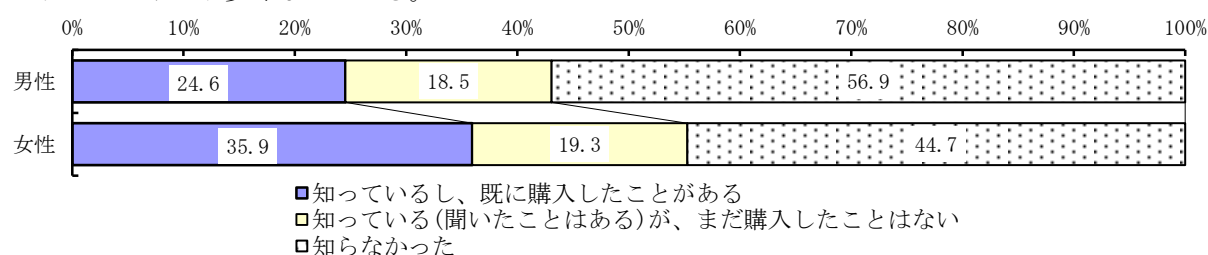
	(%)
1 「エコえひめ農産物」のことは知っているし、既に購入したことがある	31.2
2 「エコえひめ農産物」のことは知っている(聞いたことはある)が、まだ購入したことはない	18.8
3 「エコえひめ農産物」のことは知らなかった	50.0

「エコえひめ農産物」を知っているかを聞いたところ、「知らなかった」と答えた人の割合が50.0%と最も多く、以下「知っているし、既に購入したことがある」(31.2%)、「知っている(聞いたことはある)が、まだ購入したことはない」(18.8%)の順となっている。



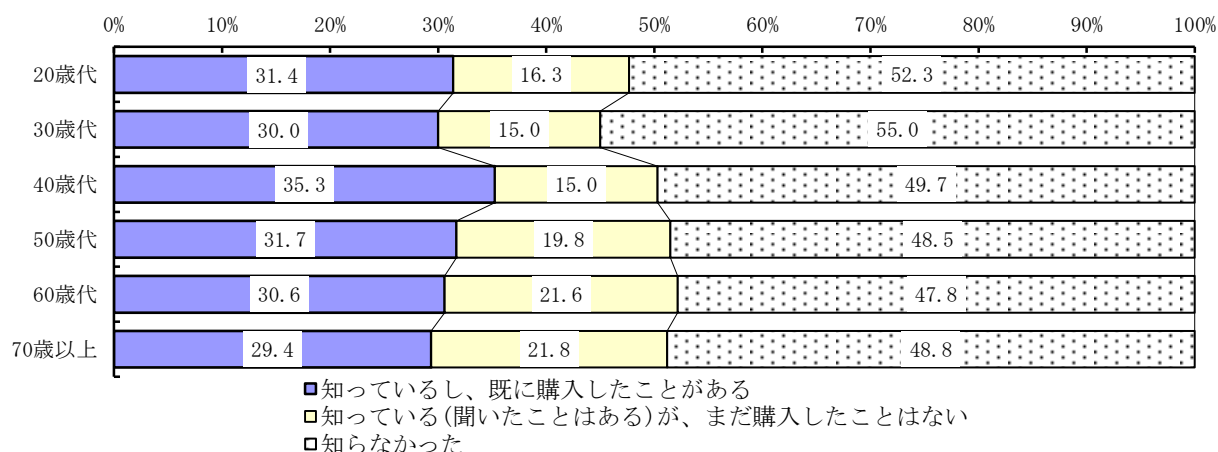
【性別】

性別にみると、「知っているし、既に購入したことがある」と答えた人の割合は、女性(35.9%)の方が男性(24.6%)より11.3ポイント多く、「知らなかった」は、男性(56.9%)の方が女性(44.7%)より12.2ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「知らなかった」と答えた人の割合が最も多く、「知っている(聞いたことはある)が、まだ購入したことはない」は、50歳代以上で多くなっている。



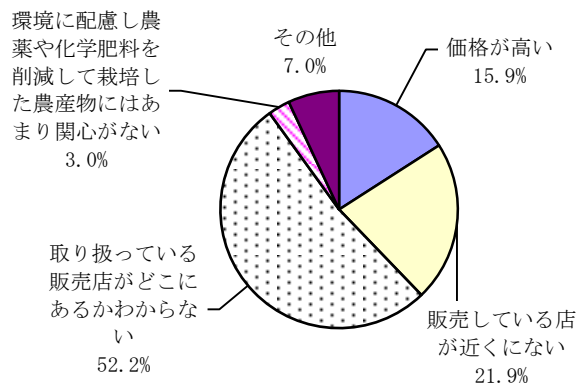
問35-1 購入したことがない理由

「エコえひめ農産物」のことは知っている（聞いたことはある）が、まだ購入したことはない理由について、最も当てはまるものを次の中から**一つ選んで**番号を○で囲んでください。

(回答者=201人) (%)

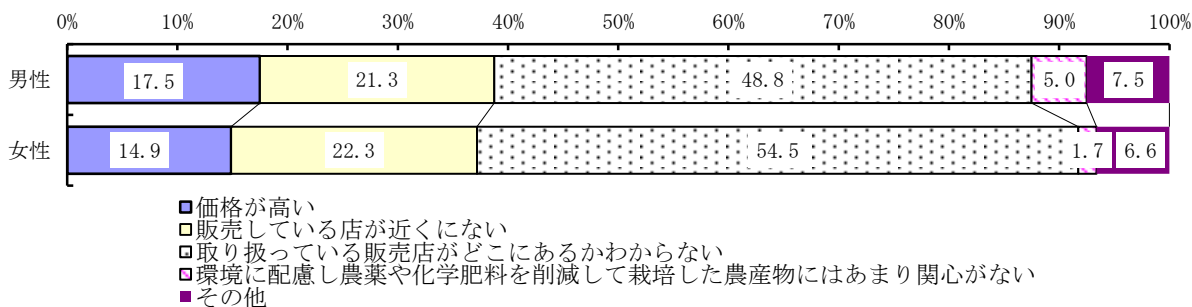
1 価格が高い	15.9
2 販売している店が近くにない	21.9
3 「エコえひめ農産物」を取り扱っている販売店がどこにあるかわからない	52.2
4 環境に配慮し農薬や化学肥料を削減して栽培した農産物にはあまり関心がない	3.0
5 その他	7.0

問35で、「「エコえひめ農産物」のことは知っている（聞いたことはある）が、まだ購入したことはない」と答えた人を対象に、その理由を聞いたところ、「取り扱っている販売店がどこにあるかわからない」と答えた人の割合が52.2%と最も多く、以下「販売している店が近くにない」(21.9%)、「価格が高い」(15.9%)、「その他」(7.0%)、「環境に配慮し農薬や化学肥料を削減して栽培した農産物にはあまり関心がない」(3.0%)の順となっている。



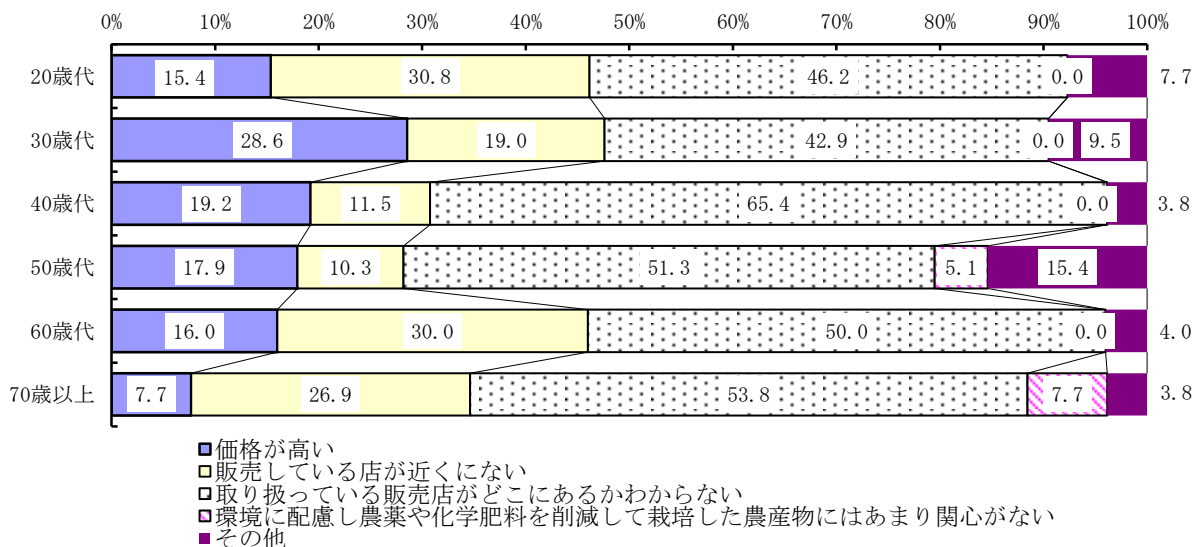
【性別】

性別にみると、「価格が高い」と答えた人の割合は、男性(17.5%)の方が女性(14.9%)より2.6ポイント多く、「取り扱っている販売店がどこにあるかわからない」は、女性(54.5%)の方が男性(48.8%)より5.7ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「価格が高い」と答えた人の割合は、30歳代(28.6%)が他の年齢層と比較して特に多く、「販売している店が近くにない」は、40歳代(11.5%)及び50歳代(10.3%)で他の年齢層と比較して少なくなっている。



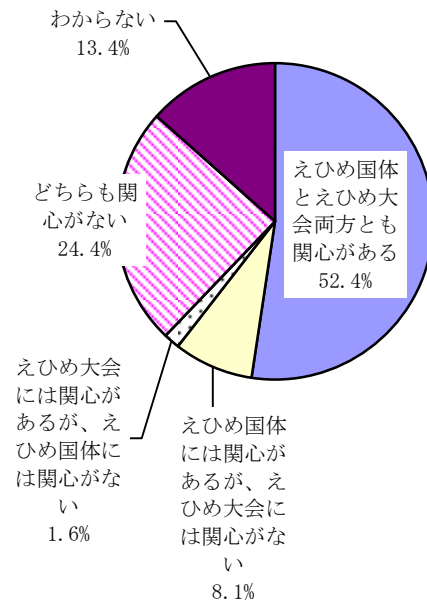
えひめ国体・えひめ大会

問36 えひめ国体・えひめ大会の関心度

あなたは、平成29年（2017年）に開催される、第72回国民体育大会（愛媛（えがお）つなぐえひめ国体（以下「えひめ国体」という。）と第17回全国障害者スポーツ大会（愛媛（えがお）つなぐえひめ大会（以下「えひめ大会」という。））に関心がありますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

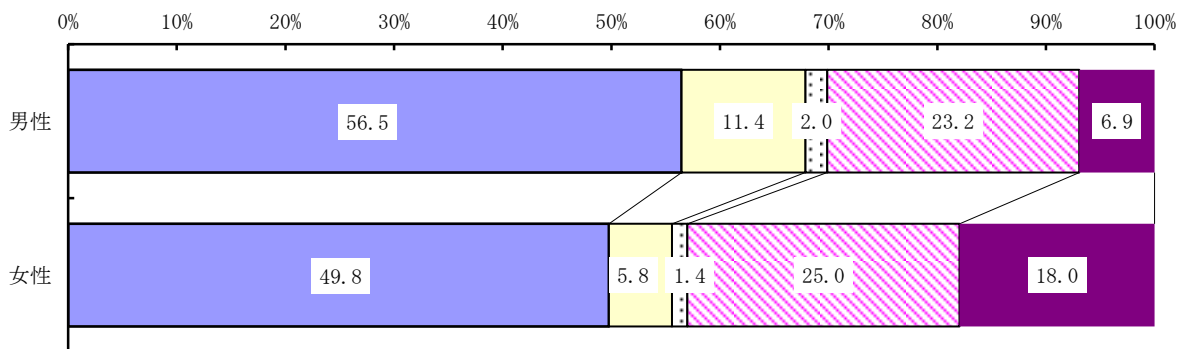
	(%)
1 えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある	52.4
2 えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない	8.1
3 えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない	1.6
4 どちらも関心がない	24.4
5 わからない	13.4

平成29年度（2017年）に愛媛県で開催される第72回国民体育大会（えひめ国体）と第17回全国障害者スポーツ大会（えひめ大会）に関心があるかを聞いたところ、「えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある」と答えた人の割合が52.4%で最も多く、以下「どちらも関心がない」（24.4%）、「わからない」（13.4%）、「えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない」（8.1%）、「えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない」（1.6%）の順となっている。



【性別】

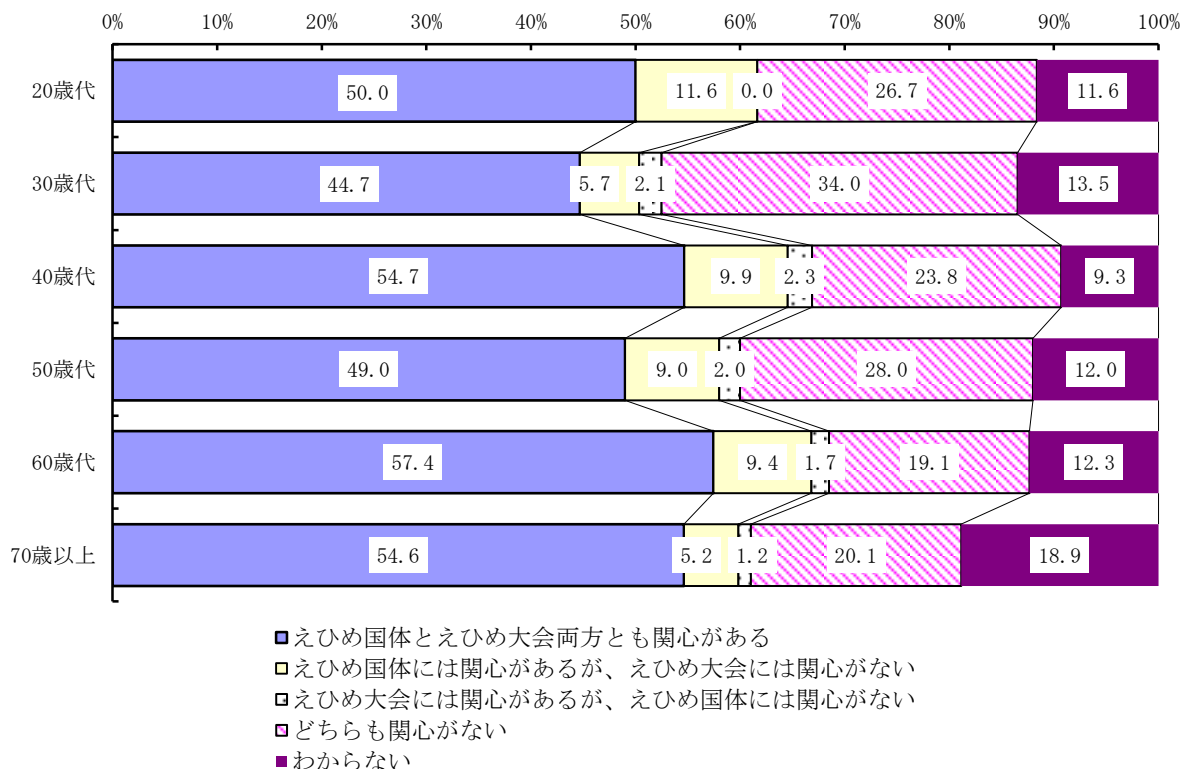
性別にみると、「えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある」と答えた人の割合は、男性（56.5%）の方が女性（49.8%）より6.7ポイント多く、「わからない」は、女性（18.0%）の方が男性（6.9%）より11.1ポイント多くなっている。



- えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある
- えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない
- えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない
- どちらも関心がない
- わからない

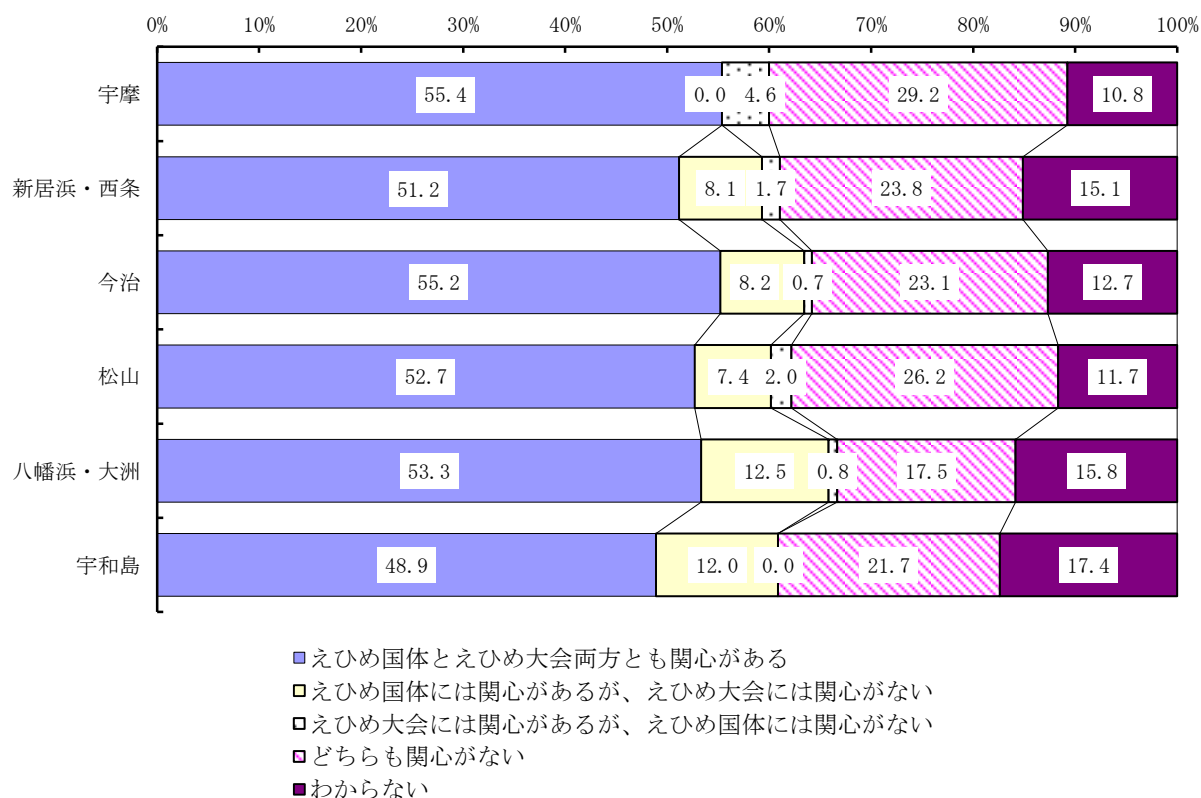
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある」と答えた人の割合が最も多く、「どちらも関心がない」は、30歳代（34.0%）で他の年齢層よりも多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある」と答えた人の割合が最も多く、50%前後となっている。



問36-1 えひめ大会に関心がない理由

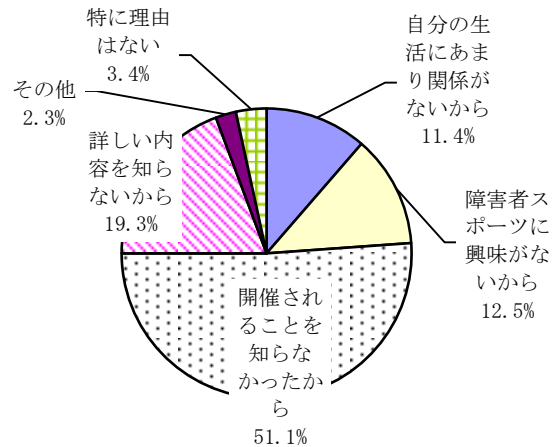
えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない理由について、次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=88人(注)) (%)

1	自分の生活にあまり関係がないから	11.4
2	障害者スポーツに興味がないから	12.5
3	開催されることを知らなかったから	51.1
4	詳しい内容を知らないから	19.3
5	その他	2.3
6	特に理由はない	3.4

(注) 母数が少ないため、性別、年齢別等のクロス集計は省略

問36で、「えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない」と答えた人を対象に、その理由を聞いたところ、「開催されることを知らなかったから」と答えた人の割合が51.1%と最も多く、以下「詳しい内容を知らないから」(19.3%)、「障害者スポーツに興味がないから」(12.5%)、「自分の生活にあまり関係がないから」(11.4%)、「特に理由はない」(3.4%)、「その他」(2.3%)の順となっている。



問36-2 えひめ国体に関心がない理由

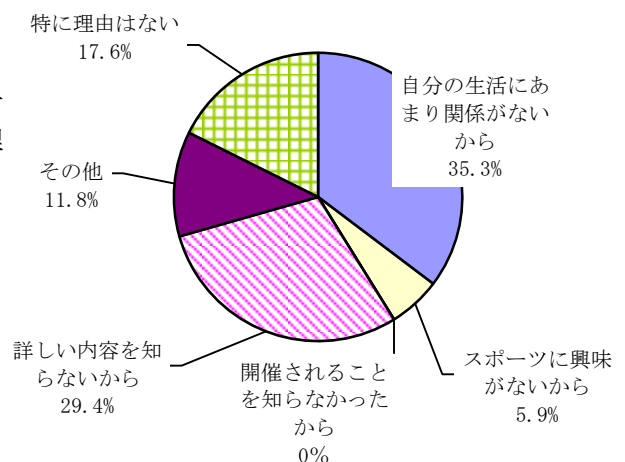
えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない理由について、次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=17人(注)) (%)

1	自分の生活にあまり関係がないから	35.3
2	スポーツに興味がないから	5.9
3	開催されることを知らなかったから	0.0
4	詳しい内容を知らないから	29.4
5	その他	11.8
6	特に理由はない	17.6

(注) 母数が少ないため、性別、年齢別等のクロス集計は省略

問36で、「えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない」と答えた人を対象に、その理由を聞いたところ、「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が35.3%と最も多く、以下「詳しい内容を知らないから」(29.4%)、「特に理由はない」(17.6%)、「その他」(11.8%)、「スポーツに興味がないから」(5.9%)、「開催されることを知らなかったから」(0%)の順となっている。



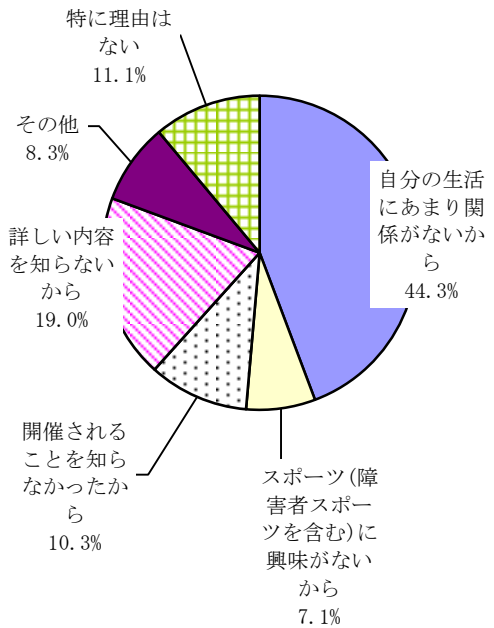
問36-3 えひめ国体及びえひめ大会に関心がない理由

えひめ国体及びえひめ大会のどちらも関心がない理由について、次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=253人) (%)

1	自分の生活にあまり関係がないから	44.3
2	スポーツ(障害者スポーツを含む)に興味がないから	7.1
3	開催されることを知らなかったから	10.3
4	詳しい内容を知らないから	19.0
5	その他	8.3
6	特に理由はない	11.1

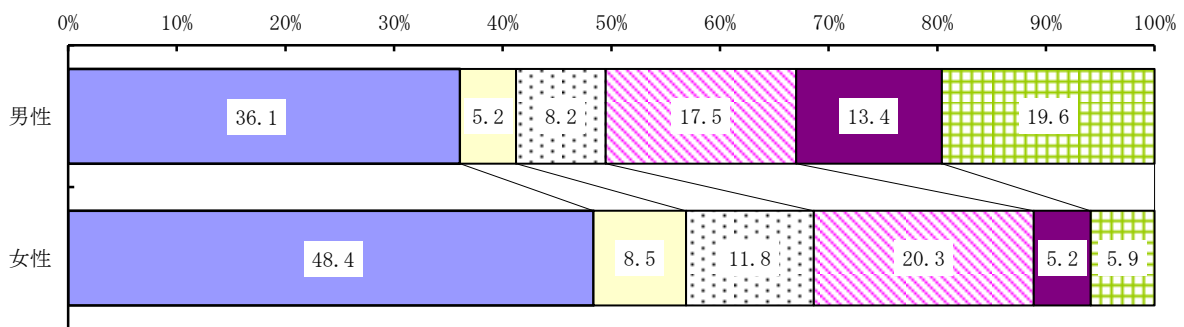
問36で、「えひめ国体及びえひめ大会のどちらも関心がない」と答えた人を対象に、その理由を聞いたところ、「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が44.3%と最も多く、以下「詳しい内容を知らないから」(19.0%)、「特に理由はない」(11.1%)、「開催されることを知らなかったから」(10.3%)、「その他」(8.3%)、「スポーツ(障害者スポーツを含む)に興味がないから」(7.1%)の順となっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が最も多く、特に女性(48.4%)の方が男性(36.1%)より12.3ポイント多い。

また、「開催されることを知らなかったから」と答えた人の割合は、女性(11.8%)の方が男性(8.2%)より3.6ポイント多くなっている。

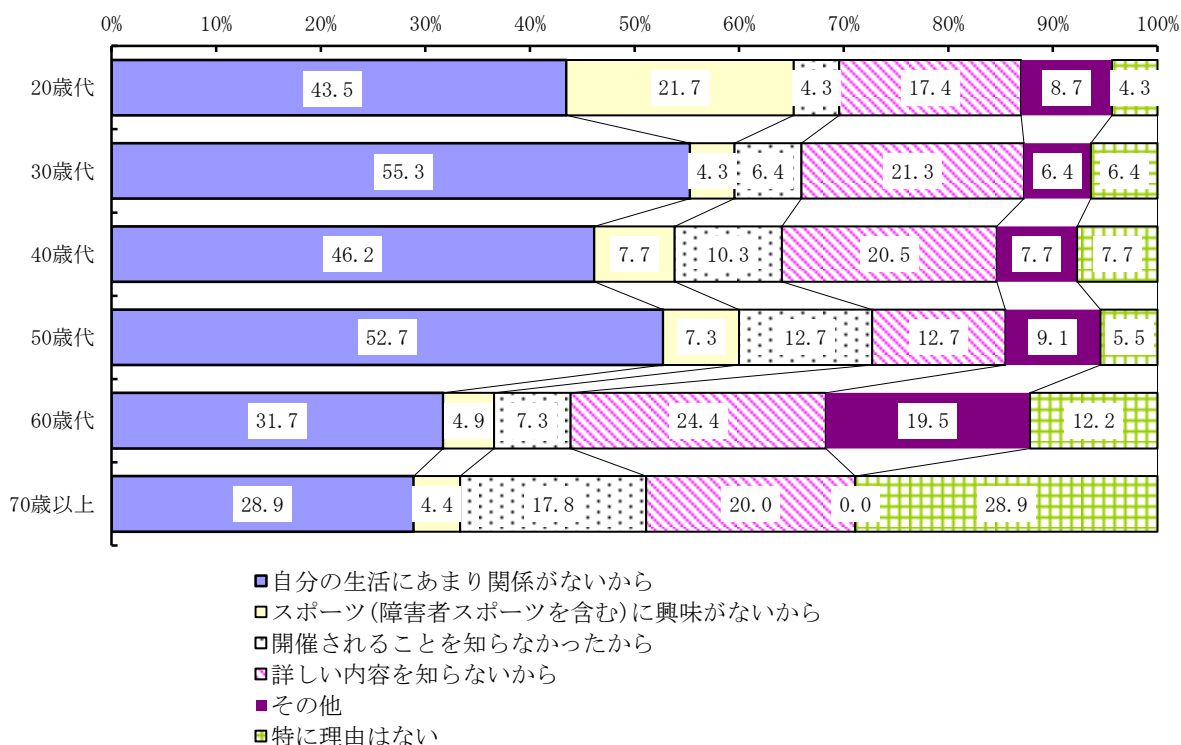


- 自分の生活にあまり関係がないから
- スポーツ(障害者スポーツを含む)に興味がないから
- 開催されることを知らなかったから
- 詳しい内容を知らないから
- その他
- 特に理由はない

【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が最も多く、その割合は、50歳代以下よりも60歳代以上のほうが少ない。70歳以上では「特に理由はない」も同率で最も多い。

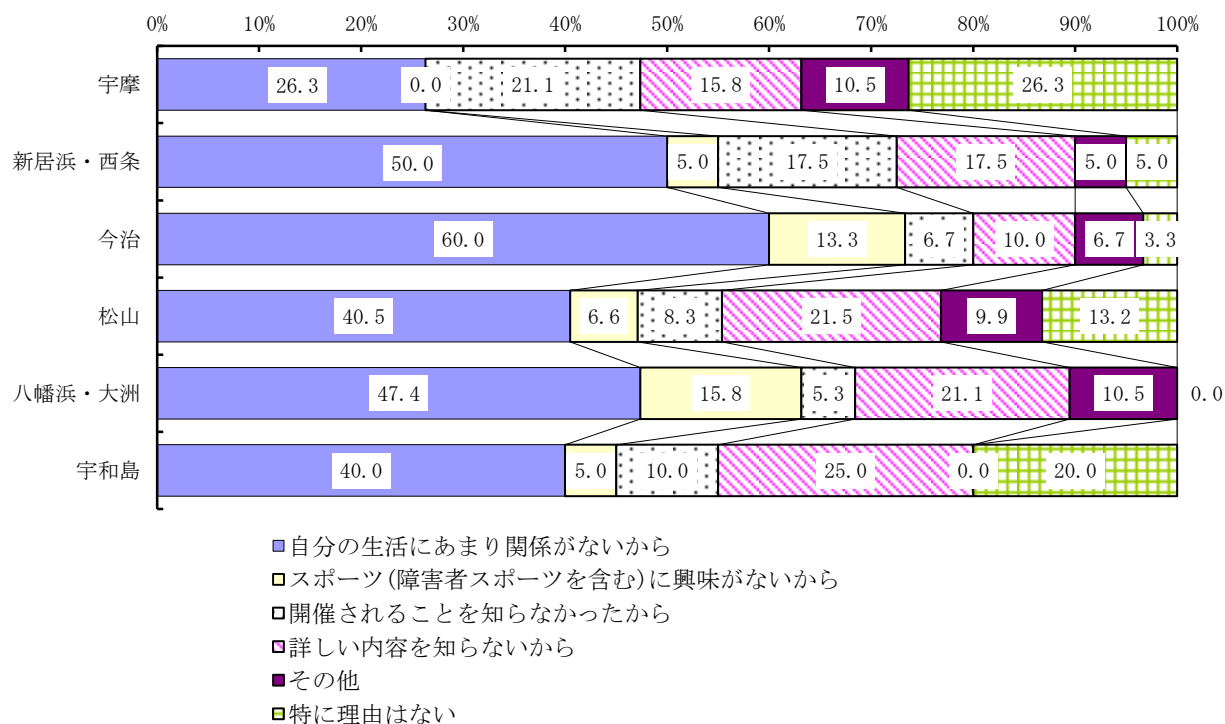
また、「スポーツ(障害者スポーツを含む)に興味がないから」と答えた人の割合は、20歳代で21.7%と他の年齢層と比較して特によくになっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が最も多く、特に今治圏域で60.0%と他の圏域と比較して多くになっている。宇摩圏域では「特に理由はない」も同率で最も多い。

また、「開催されることを知らなかったから」と答えた人の割合は、宇摩圏域(21.1%)及び新居浜・西条圏域(17.5%)で他の圏域と比較して多くになっている。



文化財への関心度

問37 文化財の見学状況

あなたは、過去1年間（平成25年1月から平成25年12月まで）に、国・地方公共団体が指定・選定を行っている文化財を見学したことがありますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

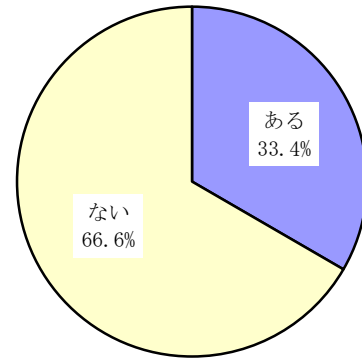
		(%)
1	ある	33.4
2	ない	66.6

どのような文化財を見学されましたか。見学した文化財の種類について、次の中からいくつでも選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=368人) (複数回答) (%)

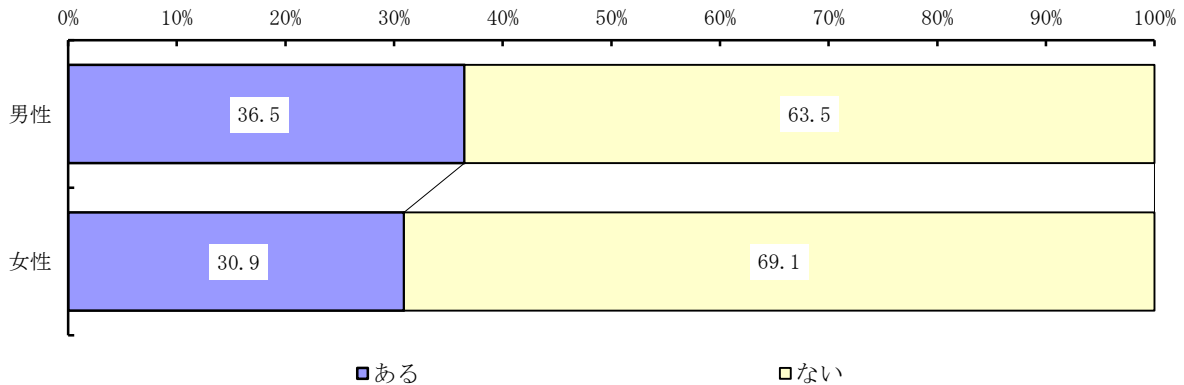
1	建造物	45.7
2	絵画・彫刻・古文書等の美術工芸品	34.0
3	演劇・音楽・工芸技術等の無形文化財	15.2
4	生業・信仰・年中行事等の民俗文化財	10.9
5	史跡・名勝地・天然記念物の記念物	53.0
6	棚田・段畑等の文化的景観	17.7
7	伝統的建造物群保存地区	17.9

過去1年間（平成25年1月から平成25年12月まで）に、国・地方公共団体が指定・選定を行っている文化財を見学したことがあるかを聞いたところ、「ある」と答えた人の割合が33.4%、「ない」が66.6%となっている。



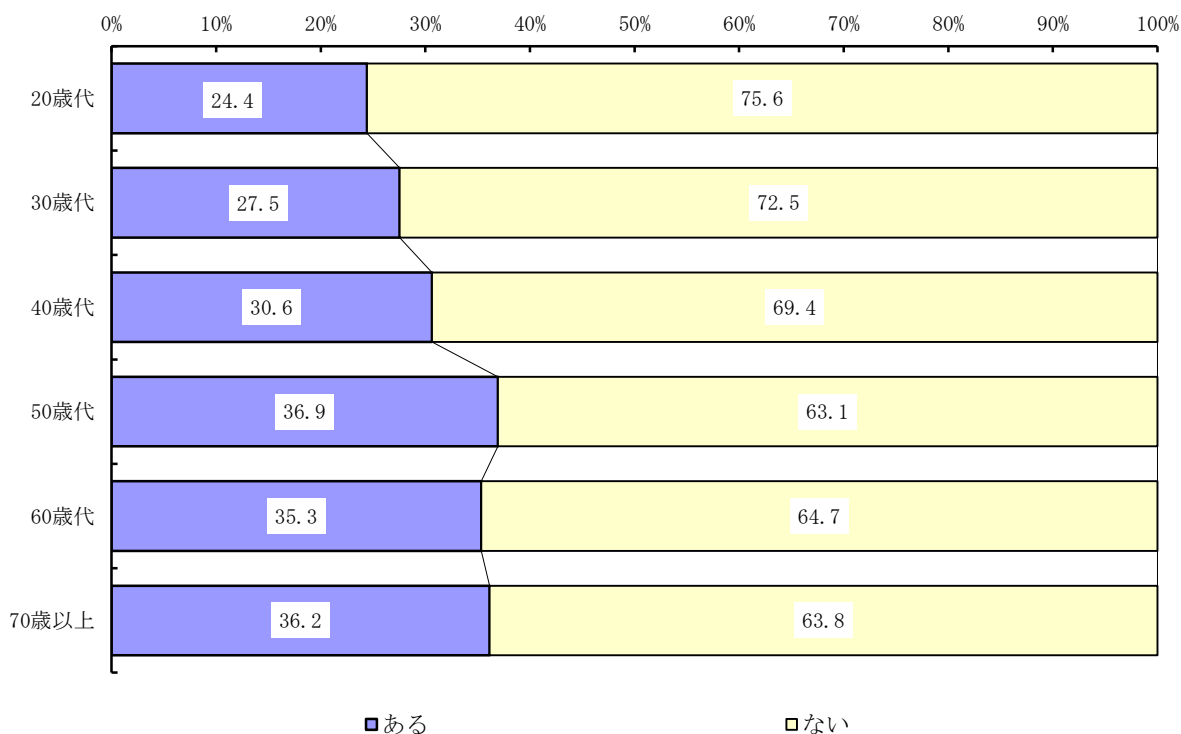
【性別】

性別にみると、「ある」と答えた人の割合は、男性（36.5%）の方が女性（30.9%）より5.6ポイント多くなっている。



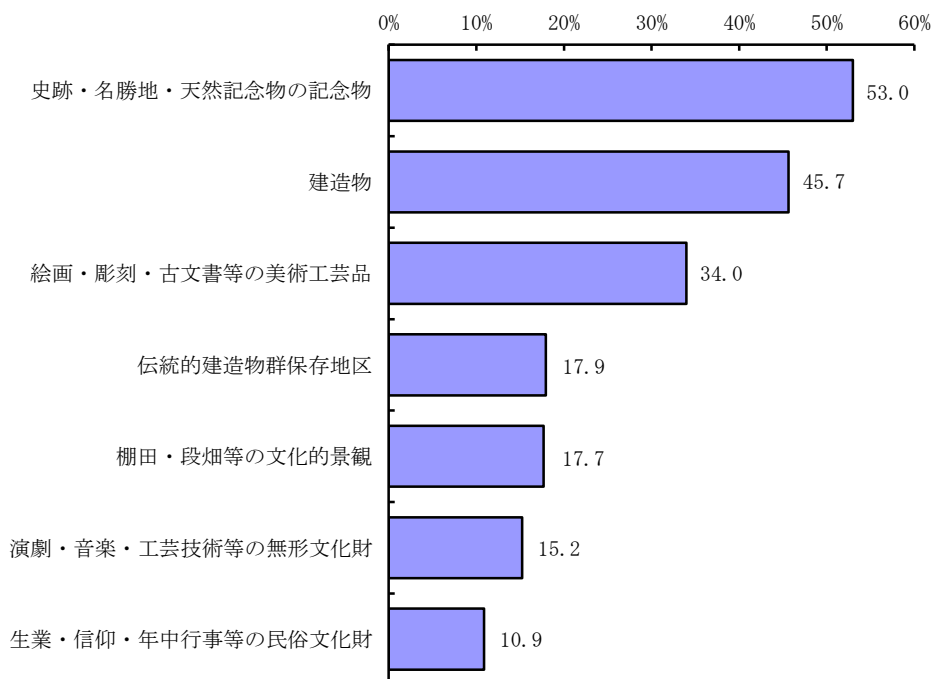
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「ない」と答えた人の割合が多く、概ね年齢層が高くなるほど「ある」と答えた人の割合が多くなっている。



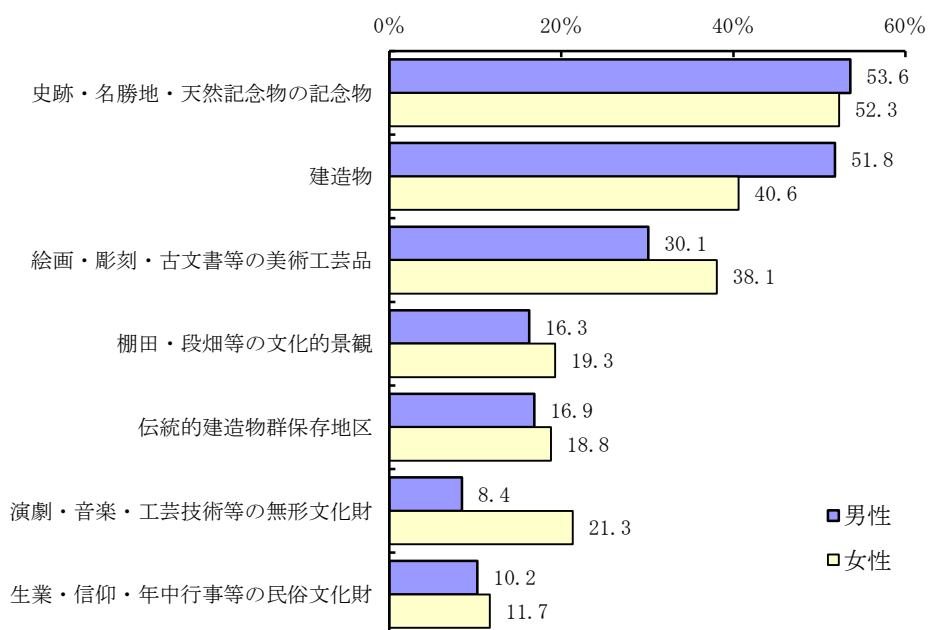
《見学したことがある文化財》

問37で、「ある」と答えた人に、見学したことがある文化財を聞いたところ、「史跡・名勝地・天然記念物の記念物」と答えた人の割合が53.0%で最も多く、以下「建造物」（45.7%）、「絵画・彫刻・古文書等の美術工芸品」（34.0%）、「伝統的建造物群保存地区」（17.9%）などの順となっている。



【性別】

性別にみると、「建造物」と答えた人の割合は、男性（51.8%）の方が女性（40.6%）より11.2ポイント多く、「演劇・音楽・工芸技術等の無形文化財」は、女性（21.3%）の方が男性（8.4%）より12.9ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代及び50歳代以上では、「史跡・名勝地・天然記念物の記念物」と答えた人の割合が最も多いが、30歳代では「建造物」も同率で最も多い。20歳代及び40歳代では、「建造物」が最も多くなっている。

また、「絵画・彫刻・古文書等の美術工芸品」は、年齢層が高くなるほど多い。

